

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ビジネスメイク		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 火曜3限/金曜3限	教室名	メイク室
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ビジネスに相応しいメイクアップ技術の習得。						
《成績評価の方法と基準》						
実技テスト、授業にとりくむ姿勢						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは使用しない						
《授業外における学習方法》						
日常生活においての身だしなみとメイクアップの確認。						
《履修に当たっての留意点》						
仕事を成功させるための職場環境に合わせての女性メイクを一緒に実践していきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容概要を理解できる。	各自タオル スキンケア用品	初回のためなし	
		各コマにおける授業予定	メイクの心理効果 メイクに必要な道具や肌の触り方の基本			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	自分の顔の特徴を理解できる。	各自タオル スキンケア用品	いつもより自分の顔を研究	
		各コマにおける授業予定	自分の顔を知り、標準プロポーションと比較し顔を分析			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌作りのポイントとスキンケアの基本を理解できる。	各自タオル スキンケア用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究	
		各コマにおける授業予定	クレンジング・洗顔・化粧水・乳液の塗布のしかた			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	メイクの基本知識を理解できる。	各自タオル スキンケア用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究	
		各コマにおける授業予定	色や形や質感の選び方			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	基本のメイクアップ方法を理解できる。	各自タオル メイク用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究	
		各コマにおける授業予定	ベースメイクに必要なアイテム 化粧下地とコントロールカラーの塗り方			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 基本のメイクアップ方法を理解できる。	各自タオル メイク用品	鏡を見て自分の眉を研究
	各コマにおける授業予定	ファンデーションとコンシーラーの色選びと、のぼし方		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 ポイントメイク技術の習得<アイブロウ編>ができる。	各自タオル メイク用品	自分のまぶたの形の研究
	各コマにおける授業予定	標準の眉のバランスと眉の書き方の習得		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 ポイントメイク技術の習得<アイメイク編>ができる。	各自タオル メイク用品	自分自身の基本ベースを思い出し色を研究
	各コマにおける授業予定	アイシャドウの塗り方とグラデーション		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 ポイントメイク技術の習得<アイライン・マスカラ編>ができる。	各自タオル メイク用品	自分自身の基本ベースを思い出し色を研究
	各コマにおける授業予定	アイライナー、マスカラの効果と使い方の習得		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 ポイントメイク技術の習得<リップ・チーク・ハイライト編>ができる。	各自タオル メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	リップ・チーク・ハイライトの色選びとテクニックの習得		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 形と質感を理解できる。	各自タオル メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	形のイメージと錯覚と質感の習得		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 メイクアップデザインを理解できる。	各自タオル メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	スペースとバランスの調整法		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 顔分析とイメージ演出方法を理解できる。	各自タオル メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	キュート～大人っぽいメイク習得		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 オールメイクトレーニング技術を理解できる。	各自タオル スキンケア用品 メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	Q&A/習得した全てのメイク技術を実技で体験		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの授業を振り返り、ビジネスメイクを知識として定着することができる。	各自タオル スキンケア用品 メイク用品	鏡を見てどのような顔の形にしたいのか研究
	各コマにおける授業予定	ビジネスメイク実技まとめ		